

令和5年度指定管理者モニタリング評価調書

| 5 利用者評価 | | | 評価 |
|----------------|---|--|----|
| 区分 | 内容 | | |
| 利用者アンケート | 実施有無 | (1) アンケート調査 ・所定の様式で、投函できる意見箱（苦情・意見・要望等）の設置及び受付窓口職員が利用者から直接苦情・意見・要望等を聞く。 | 3 |
| | 未実施 | | |
| 利用者からの評価・要望・苦情 | (1) 良好とする評価 ・職員が、毎朝勤労者体育センター敷地内の草取りなどを行っている事はすばらしい。 ・オンライン入力の施設に関する件で来所した時、親切丁寧な対応をもらった。 ・卓球場が初心者にとって利用しやすい。 ・中土狩テニスコートはコートがフェンスで囲まれているので、子供を連れていても使用出来るので良い。 | | 3 |
| | (2) 苦情・改善等の要望事項 苦情：竹原グラウンド利用者の周辺道路上での喫煙について →利用者へ周辺路上での禁煙を周知 要望：御嶽堂公園多目的広場のバスケットゴールネットの設置 →設置した。 要望：南側多目的広場のフェンスが低い為ボールがフェンスを飛び越えるので嵩上げをしてほしい。 →令和6年度に町にて修繕を実施予定。 | | |

| 6 総合評価 | | | |
|--------------------|--|------|---|
| 評価区分 | 評価 | 総合評価 | 評価理由 |
| 施設利用状況 | 3 | C | 【施設状況・事業収支】 (1) 施設の利用状況 全施設をみた場合、前年度比で104.8%、目標達成率では142.3%となった。目標値は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮したうえで設定したものであったが、令和5年5月に感染症法5類引き下げとなり、目標値は低めの設定ともいえる。 コロナ禍からは回復基調であるため、更なる利用向上策を図る必要がある。 (2) 事業収支 収支は、社会情勢の変化に伴う光熱費の高騰の影響を受け、光熱費単独では7,945千円（前年比1,004千円）となり、大幅な支出増となったことを受け追加指定管理料として2,300千円を光熱費の補填を実施した。外部委託業務の内製化などにより、光熱費の高騰による収支への影響を少なくする自動努力を重ねたが、収支は▲4,303千円とマイナス収支となった。 【事業の実施状況】 町指定事業として施設管理においては問題なく対応されていた。実施事業に関しては開催を見送った事業も多かったが、感染症法5類引き下げ後も一定の対策を引き続き講じて通常どおり事業は実施することができた。 【指定管理者の実施状況確認】 公平性は確保され、町民優先の対応が図られていた。また町、協会、協会傘下の加盟競技団体が主催する大会が優先されていた。 【指定管理業務の実施状況の確認（個別業務）】 新型コロナが収束し、各指定管理事業は平常どおり実施された。旧スポーツフェスティバルについては開催を見送り、見直しのための検討委員会を主体となって開催し、協議を重ねた。 【利用者評価】 維持管理に関して良好な意見が多く、苦情や要望に対して迅速な対応が図られていた。しかしながら、利用者から直接、町へ苦情が寄せられることも多く、協会職員はもとより業務委託先スタッフまで対応・接遇の向上を求める。 |
| 事業収支 | 3 | | |
| 職員配置 | 3 | | |
| 事業実施 | 3 | | |
| 管理運営全般 | 3 | | |
| 施設の維持管理 | 3 | | |
| サービス向上 | 3 | | |
| 危機管理対策 | 3 | | |
| その他 | 3 | | |
| 利用者評価 | 3 | | |
| 取り組みに対する指示事項及び改善案等 | ・各区を通じて参加者を募集している各種大会（町民ソフトボール大会、町民バレーボール大会等）について、各区の参加者確保が困難となってきたことから、募集や開催形態などを見直していただきたい。 <昨年度の継続事項> ・町内に公設のテニスコートは2か所のみで、双方ともスポーツ協会が管理している。現在町が委託している総合型地域スポーツクラブ事業（わく健）で子ども向け教室、大人向け教室の計3教室を開催しているものの、スポーツ協会としてテニスに関して独自の自主事業は展開していない。町民ニーズを的確に捉え、必要に応じて管理施設の特性に応じた各種事業を展開していただきたい。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため実施ができていない「障がい者が参加できるスポーツ機会の提供」について、検討を進め実現していただきたい。 ・より多くの利用者からアンケートを得るため、SNSを活用したアンケート体制の構築を検討していただきたい。 ・新型コロナウイルスの感染症法上の5類引き下げに伴い、今後はウィズコロナ・アフターコロナにおける事業実施を見据え、今回の経験を活かし、最良な事業実施を検討し、町と協議したうえで継続的に対応していただきたい。 | | |

| 【指定管理者自己評価】 |
|---|
| 指定管理者自己評価 |
| (1) 今年度の取り組みに対する評価 |
| I 利用増加への取り組み ・利用者が安心・安全に利用できる施設として、利用者の声を極力取り入れるよう管理している。 ・勤労者体育センター内は、現在も換気（各扉の開放・換気扇稼働）や手指消毒液の設置を継続している。 ・月1回事務所職員による打合せを実施し、情報の共有を図り、利用者への適切な対応に繋げる。 ・研修、講習等により職員各位が研鑽のもと、利用者へのサービスに努めている。 |
| II コスト削減に対する取り組み ・不要な照明をこまめに消灯する等、省エネ対策を実施した。 ・職員で実施可能な植栽管理（草取り）は職員で実施し、外部委託の軽減を図った。 ・職員で実施可能な軽微な修理は職員で実施し、修繕費の軽減を図った。 ・消耗品で購入しているコピー用紙の費用軽減を図るため、現在も提出文書以外は不用になったコピー紙の裏面を使用している。 |
| III その他 ・町との月1回の定例打ち合わせを実施し、各体育施設の運営等の情報交換を行い体育施設の改善・管理運営の向上に努めている。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度から3年間「ながいずみ健康わくわくクラブ」各教室が当初予定どおり開催できなかったが、今年度は第1期から第3期まで開催した。 ・勤労者体育センター内の施設点検は、毎日、開場前に目視点検を実施している。 ・中土狩テニスコート内の施設点検は、毎朝の清掃及びブラシ掛け時に目視点検を実施している。 |
| (2) 指定管理者業務実施上の課題 |
| ・竹原グラウンドの防球ネットは、国民体育大会の「ホッケー」会場として平成14年度に竣工し、令和5年度で20年を経過する。その間防球ネットの補修は職員が実施しているが、劣化や破損が進み大規模な張替が必要な状況である。 ・利用者の利便性向上のため、竹原グラウンド内のトイレを洋式に交換（令和6年度実施） ・御嶽堂公園テニスコート人工芝は修繕を続け、部分的な張替えにより不陸が発生している。 ・中土狩テニスコート人工芝の毛先の摩耗が進んでいる。 ・コスト削減に努めているものの、物価高騰や最低賃金の上昇により経営状況は厳しさを増している。住民サービス低下を招かないよう努める。 |
| (3) 次年度以降の取り組み |
| ・町の予算編成のガイドラインとなる実施計画策定のため、適切な施設管理のもと修繕及び工事の必要箇所を要望する。 ・体育施設の利用者アンケート等により要望等を精査し、利用環境の改善を図る。 |